

いぬなし青葉

令和6年9月2日

第9号

校長 山下英樹



山手中HP

● パリオリンピックのスケボー選手の言葉が心に残りました

夏も暑かったですが、オリンピックでの戦いもとても熱い試合が多く、夏休みの前半はテレビにくぎ付けの日々でした。多くの試合や選手の戦いぶり、立ち振る舞いや言葉が印象に残っています。その中の2つを紹介します。

1つ目は、スケートボードの堀米雄斗（ほりごめ ゆうと 25歳）選手の言葉です。堀米選手は「男子ストリート」の予選を突破し、決勝の前半の「ラン」で全体の4位に位置しました。後半の「ベストトリック」の1回目で難しい技を成功させましたが、2回目から4回目までを失敗し、残すは最後の5回目のみとなりました。重圧で押しつぶされそうな状況ですが、「**1%も可能性があるなら**」と果敢に（かかんに：強い決断力をもち、思い切って行動を起こす様子）チャレンジし、みごと難しい技を成功させ、東京オリンピックに続き、2大会連続の金メダルを手に入れました。「1%しかない」とネガティブにとらえてしまい、あきらめたり、逃げだしたり、できない理由を考えたりしてしまうことが多いですが、「**1%もある**」と**ポジティブに考えられたからこそその金メダルだ**と思います。



もう1つもスケートボードの四十住さくら（よそすみ さくら 22歳）選手の言葉です。四十住選手も前回の東京オリンピックの「女子パーク」で金メダルを手に入れました。パリオリンピックでもメダルの期待の大きな選手でした。予選で自分の演技が終わった時点では暫定4位で、他の選手の結果を待つ状況の中、インタビューで「**2連覇しようと思ってきたので、3位までには痛かったけど…**。（中略）最後まであきらめずに、…。でも人の失敗は祈りたくないの…。でも、決勝には行きたいので、ちょっと変な気持ちになっちゃうんですけど、行けるように祈ります」と答えました。最終的に四十住選手は予選10位となり、決勝進出はなりませんでしたが、スケートボードでは、選手はライバルであっても、**仲間という意識が強く、難しい技を決めたら素直にすごいな**と思ったり、**お互いにリスペクト（尊敬）しあったりする文化**があると言われていました。その精神が四十住選手にも根付いており、このような発言になったのだと思われます。

2学期には体育祭、文化祭と大きな行事があります。また、運動部の人は新人戦があります。文化部の人は集大成の発表の場もあります。そして、3年生にとっては卒業後の進路について具体的に考え、選択し、決定していく時期を迎えます。**チャレンジする機会が多い2学期**です。**自分の可能性を信じて勇気をもってチャレンジ**していきましょう。もちろんそこには**努力が必要**です。そして、**仲間も必要**です。声をかけあい、励まし合い、リスペクトし合える関係性の中で、たくさんのチャレンジをしていきましょう。周りの人のチャレンジを心から応援し合える仲間でありたいですね。

【生徒の活躍紹介】 ●9月22日（日）（9時開会）に大谷台小学校で行われる「敬老祝賀祭」の本校の合唱部＋3年有志合唱団が出演します。「僕らはいきものだから」と「初心のうた」を歌います。時間があればお越しください。また、運営のボランティアも募集していますので、協力をお願いします。

●9月8日（日）に、セントヨゼフ女子学園で行われる「第15回津市長杯セントヨゼフ女子学園英語スピーチコンテスト」に、1年生の[]さん、3年生の[]さんが出演します。

●9月28日（土）に、高田短期大学で行われる「高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会」に、2年生の[]さん、3年生の[]さんが出演します。

●三重県競技力向上強化指定選手に、陸上部の[]さんが選ばれました。

●男子バレーボール部の3年生、[]さんが北勢選抜選手に選ばれました。また、平野さんは、三重県選抜選手にも選出されました。

●9月14日から大阪で行われる第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に、剣道部の[]さんが三重県代表チームの一員として出場します。

●9月12日から東京で行われる第24回全日本新体操クラブ団体選手権に、1年生の[]さんがジュニアの部で出場します。

●7月に大阪で行われた関西少年レスリング選手権で、2年生の[]さんが、中学生44kg級で1位になりました。また、8月に行われた濃尾少年少女連スリング大会でも1位になりました。